

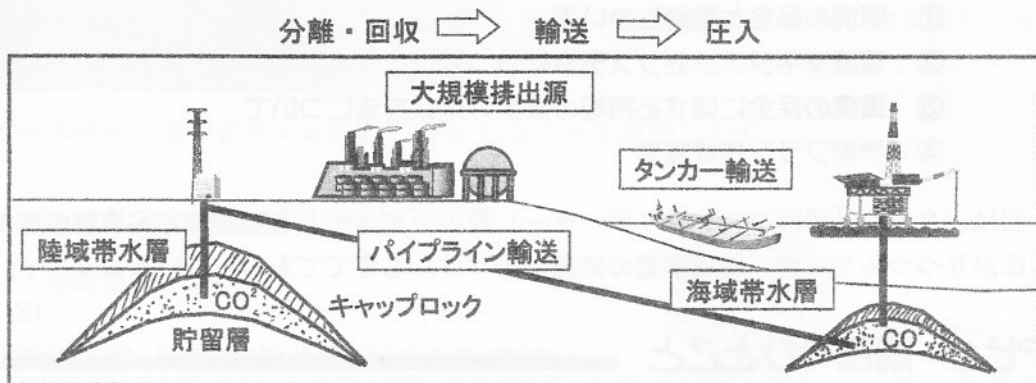
二酸化炭素回収貯留 (CCS) 技術

地球温暖化の最大要因として、CO₂の増加が上げられています。今すぐに化石燃料を使わない生活が出来ると可能性は低く、でも温暖化にストップをかけなければ... というジレンマの中、多くの新しい技術が早急に開発されているようです。

その中の1つ、『CO₂を地中に貯留させる技術(CCS)』について調べてみました。

CCSとは、工場や火力発電所など大規模にCO₂が発生する場所からCO₂を分離、回収し、パイプライン等で安定した地層に貯留したり、海洋に隔離することで、大気から長期間隔離する技術です。貯留・隔離の方法はいくつか研究されていますが、中でも貯留可能量が大きく最も有望視されているのが帯水層への圧入です。(図)

帯水層貯留の概念図



海外では、ノルウェー・カナダ・アルジェリアですでに実用化され、各国、年間約100万～120万tを帯水層に貯留しています。また、CO₂の分離、回収技術にすぐれている日本の大手企業が海外の新しいプロジェクトに参加しています。

今後の課題は低コストと回収後の確実な貯留にあるようですが、2005年IPCC (気候変動に関する政府間パネル) は、全世界の地中貯留可能量が約2兆tと報告しています。これは現在のCO₂排出量の約80年分に相当し、今後の期待が高まっています。しかし、残念な事に、すでに放出されたCO₂を回収する技術ではない為、温暖化ストップには今の生活を見直す事も必須だと改めて感じました。

参考: 経済産業省 <http://www.meti.go.jp/report/downloadfiles/g71019a01j.pdf>

国立環境研究所 http://ecotech.nies.go.jp/library/report/repo_03.html

二酸化炭素地中貯留技術研究開発 <http://www.rite.or.jp/Japanese/project/tityu/tityu.html>

「4年目を迎えた「学習プラン作成ワークショップ」の成長

8月8日・26日、エコロの森の再生・展示棟研修室にて、「学習プラン作成ワークショップ」を開きました。毎年、古賀・福津・新宮の小学校4・5年の先生宛にダイレクトメールを出し、「連携教室」共々応募をご案内をしますが、少しずつご理解が深まり、また今回は福津市うみがめ課さんのご協力もあって、例年以上にたくさんさんの参加をいただきました。



このワークショップは、以前もお知らせしましたが、環境省を始めとする三省の人材認定等事業に登録されています。人材認定等事業は、平成15年公布の「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律」に基づき設けられました。

(育成事業登録数:現在18) <<http://www.env.go.jp/policy/edu/reg/detail/>>

その申請に基づき、ワークショップでは次の内容を実施します。

- ① 環境の保全と教育について
- ② 環境マネジメントシステムについて
- ③ 環境の保全に関する指導の安全の確保方法について
- ④ 学習プラン作成実習

今回は、2名の「講師&ファシリテーター」役のデビューとあいなり、実施側のキャラも広がりつつあります。育成事業の実施にエコけんも育ててもらっているようです。

(S)

デビュー講師のひとこと

昨年まで「研修中の傍聴者」でしたが、初めて「講師」という逆の立場でこのワークショップに参加しました。普段教える立場の先生方は、教育のプロであり、その先生方への講義は緊張の連続でした。



ワークショップ当日は盛り沢山の内容で、参加いただいた先生方も大変だったと思います。1日の最後にはそれぞれ学校ごとにオリジナルプランが出来上がり、楽しみな内容ばかりでした。また、日頃お忙しい先生方から、現場のお話をゆっくり伺うこの機会を、ぜひ今後の私たちの活動に役立てたいと思います。

今回講師をする為に、何度も見直しを繰り返した結果、自分自身が一番勉強になりました。「聞く、見る」に比べ、「体験する」は効果が何倍もあるといわれているそうですが、まさしくそれを体感した関わりでした。

Yっち

MYエコ宣言 ~Vol.10 佐藤 勝志 氏 (新宮町立新宮中学校校長)

夏休みの新宮中学校に取材にうかがいました。先の西方沖地震により一部校舎が建て替えられ、取材陣の中の新宮中学校で教鞭を執っていたものにとっては、新しくきれいになった4階建て校舎にびっくり。その当時の先生との懐かしい再会もありました。



佐藤校長は、取材のあいだ、真剣に考えてお話しされる姿が印象的でした。ただ、今までこれといったエコ行動をとられたことがないとか。買い物にも行かれないそうで、「お勧めエコ行動は？」の質問に「エコバックの使用なんて書いたら、奥さんにうそつきといわれるもんなあ。」と笑われました。とても正直で率直なお人柄とお見受けしました。

また、次回取材先を2校（城東高校・新宮小学校）も紹介していただきました。

新宮中学校が、ますますエコ活動に励まれることを期待します。

①関心のある環境問題は何ですか

- ・地球温暖化現象

②実践しているエコ行動があれば教えてください

【学校としての取り組み】

- ・節電 ・ 海岸の清掃と松の植樹
- ・PTAによる古紙回収（保護者と部活生徒の共同作業）
- ・生徒会の係りによる校内古紙回収



MYエコ宣言

電灯をこまめに消します!

次回は、新宮町立新宮小学校校長(予定)です。 (日女)

活動報告

～8月～

日	自主活動	エコロの森ステーション活動
1		子どもエコエコクッキング エコロダンベル体操 (M)
2		子どもエコエコクッキング かえっこチャレンジ
5	エコけんニュース108号発行	工場見学+講座 エコロ工作教室 ほっとちゃっと62号発行
6		子どもエコエコクッキング (ペットロケット飛ばし)
7	福津市環境リーダー養成講座出席・参加	子どもエコエコクッキング
8	学習プラン作成ワークショップ開催	
9	福津市仲間作り講座参加	(ペットロケット飛ばし)
12	京都研修報告会	(M)
19	ニュースレター40号配信	工場見学+講座
20		エコロ工作(カラス板屋)
21	福津市環境リーダー養成講座出席・参加	工場見学+講座 エコロ環境教室(子育てサークル) ほっとちゃっと63号発行 (M)
22	マイエコ宣言取材	エコロ環境教室(学童)
23		ファン・ファンエコロ～かえっこまつり～ ペットの外飛ばし かえっこショップヨ-ヨ-すくい 割り箸鉄砲 プラ板 おもちゃ病院 エコなワークショップ かえっこ家具 エコロリア
25	定例会議	全体運営会議 教室会議 活動育成会議 展示会議
26	学習プラン作成ワークショップ開催	
29	エコけんニュース109号発行	(M)

※ (M) ……………利用登録メール配信

今月のトピックス!

エコロの森では、夏休み教室締め、ファン・ファンエコロ！
～かえっこまつり～も、おかげさまで盛況でした。また、
新しい切り口も見えてきましたので、この夏の成果も十分でした。

こうして、一覧表で活動を振り返ってみると、エコロの森では広く、エコけん独自
では深く、という印象です。それを10名足らずのスタッフで、同時にやっていくので
すから、ひとりひとりの負荷はかなり大きいと再確認しました。今後、突っ走るだけ
ではなく、目的を見据えた整理や精査も必要な時期にきているのかなと思います。

思いを形に

特定非営利活動法人

NPOエコけん

連絡先 〒811-3121 古賀市筵内1970-1 玄界環境組合古賀清掃工場 再生・展示棟

TEL/FAX 092-944-3012 MAIL ADDRESS eco_ecoken@ybb.ne.jp HP ADDRESS <http://www10.ocn.ne.jp/~ecoken/>